

志紀中学校だより

和力敬愛 (わりよくけいあい)

令和6年度2月号

進路選択・進路決定、そして自己実現に向けて！ ～義務教育終了後を見据えて！！～

校長 本鍋田 浩司

『一月は往ぬる 二月は逃げる 三月は去る』という慣用句があるように、つい先日、3学期がスタートしたと思っていましたが、あっという間に1月は過ぎ去り、2月がスタートしました。特に、3年生(78期生)にとっては、2月、3月と正念場を迎える時期に入ってきました。ほとんどの子どもたちが、自分自身の進路を決定すべく、これから本番を迎えます。子どもたちにとっては、「しんどい」時期になると思いますが、この間、「頑張ってきたこと」、「努力を積み重ねてきたこと」を「最後まであきらめずに、もうひと踏ん張りする」ことで、「最高の準備を整え、自信をもって」、しっかりと体調を整え、本番を迎えて欲しいと思います。志紀中78期生の頑張りに期待しています。

進路選択・進路決定については、1、2年生にとっても、遠い話ではありません。中学校の3年間は、あっという間です。中学校3年間、そして義務教育9年間の一つの区切りとなり、大きな選択が迫られます。子どもたちには、しっかりと夢をもち、その夢を叶えるための目標を掲げ、さまざまなことにチャレンジしていく中で、進路選択に向けて、努力を積み重ねてくれることを期待しています。

ただ、子どもたちの進路選択は、さまざまです。「就職」や「進学」などの選択、また、「どのような仕事に就くのか」、「どういう学校を選ぶのか」など、将来を見据え、具体的な話を進めていきます。その時に、本人の意志がはっきりとしていて、保護者とも方向性が一致している場合は、比較的スムーズに話は進みます。ただ、まだまだ中学生です。漠然としか考えられていない子どもたちもいます。また、希望するところと本人の成績等の条件がかみ合っていない場合などもあり、進路がなかなか決まらないこともあります。当然、本人も悩んでいます。保護者のみなさまにとっても、いろいろと悩まれることも多いと思います。どうサポートしていけばよいのか、どうアドバイスをしていけばよいのかについて葛藤されると思います。これは、本人の性格にもよりますし、本人のおかれている状況にもよります。場合によっては、年齢を重ねる中で、新しい目標のもと進路変更をすることもあります。

いずれにしても、その時々で、子どもたちは、自分自身の将来についてまじめに考えることが大切です。保護者の方は、子どもたちと真剣に向き合う中で、答えを見つけていくことが大切だと思います。真剣に考えた選択は、間違いでもないし、回り道でもないと思います。保護者のみなさまは、いつでも子どもたちの一番の理解者であり、支援者であり、子どもたちの「将来の幸せ」を一番に願っているからこそだと思います。

子どもたちには、限りない可能性があります。人生において、自分が本来持っている可能性を最大限に発揮し、自分らしく生きることに、早い遅いはないと思っています。ただ、その時々、真剣に考えることは必要不可欠です。その大きな起点のひとつが、中学校卒業時の義務教育終了後だと思いま

す。中学校生活3年間は、あつという間であり、かつ濃い3年間です。子どもたち自身が、進路だけではなく、さまざまなことに悩みを抱えやすい時期でもあります。私たち教職員もしっかりと支援していきます。子どもたちの「自己実現」に向けて、ともに頑張りましょう。

さて、先週3年生の面接練習をしました。毎年そうですが、今年度の3年生(78期生)も**緊張感**をもちながら、**まじめ**に取り組んでくれています。たとえ練習であっても、場面に応じて「**緊張感**をもって物事にあたる」ことは、とても大切なことです。「**真剣に、一生懸命に取り組んでいるからこそ**」緊張感が生まれます。子どもたちは、これからの生活の中で、さまざまな場面で緊張感を味わい、経験を積み重ねていきます。自分自身の目標に向かって、「**努力を積み重ねてきたからこそ**」の緊張感です。うまく克服できたり、失敗したりしながら、あらたな目標を立て、成長していきます。一方で、楽観的に考え、準備を怠ると、「いざ、本番」というときに、急に緊張感が増してしまい、思うようにいかず、慌ててしまうケースもあります。子どもたちには「**よい緊張感**」を経験しながら、それを克服し、目標を達成するために、「**気持ちをコントロール**」できるようにトレーニングして欲しいと思っています。その繰り返しが、子どもたちの人生の大切な時期に、**最高のパフォーマンスを発揮できること**につながっていくものだと思います。

『**努力は人を裏切らない**』という言葉があります。この言葉は、**努力**をしていれば、「**すべての結果がうまくいく**」というものではないと思っています。**結果**を求めることは大切ですし、**結果**を求めるからこそ、「**最大限の努力**」が出来ます。その中で、うまく**結果**が出れば、次へのモチベーションにつながります。また、たとえ**結果**が思うようにいなくても、**目標**に向かって、**努力を積み重ねたこと**には、大きな意味があり、**本人の成長**につながっていることは間違いのないと思います。**結果**を求め、「**最大限努力したこと**」、「**あきらめずに取り組めたこと**」、**取組み**をとおして「**人と関わったこと**」「**人とつながったこと**」など、**本人の人生**にとって『**大きな財産**』になるはずで

また、自分自身の『**目標**』を見つけたり、それに向かって『**努力**』をはじめたりする時期は、人それぞれです。早くスタートをきれる方がよいとは思いますが、「もう、間に合わない」は、絶対にないはずで

エンジンのかかりが遅くても、あきらめずに、自分の出来る精一杯の**努力(準備)**をし、**自信**をもって、自分自身の大切な**本番**に臨んで欲しいと思います。

志紀中生の大いなる成長を期待しています。

毎回お願いになりますが、「**子どもの成長**」は、学校だけで担えるものではありません。『**チーム学校！チーム志紀！！**』子どもたちの将来の幸せを願い、子どもたちを地域でしっかり支え、家庭であたたかく育み、学校が子どもたちを伸ばす。すべての子どもたちの可能性を引き出せるよう、「**地域・家庭・学校**」が**連携・協力**し、**一体**となって、**成長**をともに支援していきましょう。

『人にやさしい』『人がやさしい』『すべての人が大切にされる』学校をめざして！



☆三 遅刻者の推移について

年が明け、気温が驚くほど下がり寒い日が続いています。最近の予鈴、本鈴遅刻の多さから、布団から出る時間や家を出る時間がだんだん遅くなってきているように感じます。遅刻者は先月頃からかなり多い日が続いています。最近では、1日3学年合わせて100人近く予鈴遅刻をしています。それに伴い、本鈴遅刻も増加傾向にあります。

暑くても寒くても時間の大切さは同じです。このくらいいいやとぎりぎりに行動する習慣が身につくと、何かトラブルがあったときに大変なことになります。特に入試など絶対に時間を守らなければならないときはもちろんですが、時間に余裕を持って行動するようにしましょう。

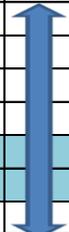
☆多2、3月 月間行事予定

2月の予定

日	曜日	給食	行事	日	曜日	給食	行事
1	土			15	土		
2	日			16	日		
3	月	○		17	月	○	特別選拔出願
4	火	○		18	火	○	
5	水	○		19	水	○	
6	木	○		20	木	○	特別選抜入試
7	金	○		21	金	○	特別選抜入試
8	土			22	土		
9	日			23	日		
10	月	△	大阪私学入試【3年生のみ給食なし】	24	月		
11	火		大阪私学入試	25	火	○	一般選抜懇談(3年生のみ)
12	水	○		26	水	△	・1, 2年生学年末テスト(1, 2年生のみ給食なし) ・一般選抜懇談(3年生のみ)
13	木	○		27	木	△	・1, 2年生学年末テスト(1, 2年生のみ給食なし) ・一般選抜懇談(3年生のみ)
14	金	○	特別選拔出願	28	金	△	・1, 2年生学年末テスト(1, 2年生のみ給食なし) ・一般選抜懇談(3年生のみ)

3月の予定

日	曜日	給食	行事	日	曜日	給食	行事
1	土			16	日		
2	日			17	月	×	三者懇談①
3	月	○	特別選抜発表	18	火	×	三者懇談②
4	火	○		19	水	×	三者懇談③
5	水	○	一般選拔出願①(3年生)	20	木		
6	木	○	一般選拔出願②(3年生)	21	金	×	三者懇談④
7	金	○	一般選拔出願③(3年生)	22	土		
8	土			23	日		
9	日			24	月	×	修了式
10	月	○	卒業式予行	25	火		二次選拔出願(3年生)
11	火	○		26	水		二次選抜面接(3年生)
12	水	△	一般選抜入試【3年生のみ給食なし】	27	木		二次選抜発表(3年生)
13	木	○	卒業式準備(1, 2年生)	28	金		
14	金	×	卒業式	29	土		
15	土			30	日		
				31	月		



春休み(3/25~4/7)